

平成 17 年度第 1 回環境保全技術セミナーを開催しました

道環協・環境保全技術セミナーは、当協会会員や行政、研究所、大学等を含めたさまざまな立場の皆様、会員内外が保有する環境保全技術や製品の普及を図るために企画しております。単なる技術紹介にとどまらず、施工事例や積算に関わる情報まで、これまでのセミナーより、一歩進んだ情報交換を狙いとしています。また、より詳細な情報取得、相談のご要望に対しては、別室に相談窓口を設けて個別対応いたしております。皆様の実務に直ぐ役立つ情報交換の場として定期開催を目指しておりますので、発表者あるいは参加者として皆様から広くご利用いただきますようお願い申し上げます。

主催：北海道環境保全技術協会

日時：平成 17 年 6 月 23 日（木）午後 1 時 30 分～5 時、相談会場は午後 5 時 30 分まで開場

場所：かでの 2 7（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）

セミナー会場： 710 会議室、相談会場：720 会議室 B

参加費：無料

<プログラム>

1．開会挨拶

（13:30-13:35）

2．ポンテラン工法（高含水比建設汚泥リサイクルシステム）とこれを用いた工事の実例

（13:35-14:45）

3．G-T E X 植生土壌診断法について

（14:50-15:50）

4．ASTM フェイズ I/II による地盤汚染評価と組合開発土壌汚染調査・対策技術のご紹介

（15:55-16:55）

4．開会挨拶

参加総数 83 名（会員 39 名、非会員 13 名、官庁関係者 19 名、その他 13 名）

以上



前田会長による開会ご挨拶

<今回紹介技術の内容>

1. ポンテラン工法（高含水比建設汚泥リサイクルシステム）とこれを用いた工事の実例

[概要]： ポンテラン工法は、高含水比の建設汚泥あるいはヘドロを脱水することなく団粒化し、盛土材や緑化基盤材に再利用するものです。この技術における繊維質固化材料の有効性を紹介するとともに、施工性や経費について情報提供しました。

[発表者]： 三和土質基礎株式会社（道環協会員）



2. G-T E X 植生土壌診断法について

[概要]： G-T E X 植生土壌診断法は、植生土壌を正確に診断し、肥料および土壌改良材の補充料を算出したり最適な植生工法を選定できる診断法です。当セミナーでは、本技術の内容と適用例について具体的に説明しました。

[発表者]： グリーンテックス株式会社（道環協会員）

3. ASTM フェイズ I/II による地盤汚染評価と組合開発土壌汚染調査・対策技術のご紹介

[概要]： ASTM 標準規格に基づく地盤汚染リスク評価は、不動産取引におけるシロ情報の説明資料や土壌汚染対策法における資料等調査や汚染対策調査として有効であり、協同組合地盤環境技術研究センターでその普及に努めています。そのほか当組合で独自に開発した調査・対策技術をご紹介しました。

[発表者]： 協同組合地盤環境技術研究センター北海道支部（道環協会員）



4. 個別相談会の実施

セミナー終了後、さらに詳細な情報交換を目的として個別相談会を行いました。今回は各発表内容に対応したパネル展示も行いましたが、周知不足で訪問された方は少なかったようです。

以上